

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、前払金、未払金、未払費用、預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は下記2のとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
普通預金	77,826,235	91,676,478
未 収 金	0	4,016,073
未収現地源泉税	0	6,178,311
前 払 金	33,700	1,500,000
合 計	77,859,935	103,370,862
未 払 金	295,586	361,011
未払費用	1,539,965	1,651,858
預 り 金	475,783	462,162
合 計	2,311,334	2,475,031
次期繰越収支差額	75,548,601	100,895,831

3. 予算額と決算額との差異が著しい科目

基本財産配当金収入

外貨建て債券等に係る配当金について、為替相場の変動等により、予算額との差異が生じた。

周年記念事業支出

周年記念事業に係る委託費等について、役務提供が翌年度となるものを前払金として処理したため、予算額との差異が生じた。